

Cnetひたち

2018年12月10日

発行:コミュニティNETひたち

発行人:久保裕

編集:佐藤紀子

元気なシニア、世話役を買って出る楽しさ発見

代表理事 久保 裕

シニアになって若い人の世話になる人もあるが、世話役を買って出る人もいる。町内会や同窓会の世話人もパソコンのデータで引継ぎをすれば楽にできる。今年9月には日立市 ICT 推進室と高齢福祉課の主催で私たち Cnet の会員が相談員となり「シニア向けのパソコンとスマホの無料相談会」が開催された。60歳から80歳台まで多くのシニアが新しい情報機器に取り組み始めている。元気なシニアは世話役上手だから若者には負けていられない。ネットワークにWiFiで家の中にも皆がつながり合って楽しさを発見している。今年映画「ある町の高い煙突」が制作されて来春には公開される。この映画の制作前の企画のときから監督やプロデューサーと付き合いができ、支援することができたのは NPO 法人として貴重な経験であった。明治時代のハイテク産業であった鉦山で日立製作所が誕生した。鉦山の煙害から守った奇跡の日立の大煙突の物語を映画で観ることを楽しみにしている。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 顧問・理事・監事 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「ある町の高い煙突」の映画化 内田 芳勲

新田次郎原作の「ある町の高い煙突」の映画化にあたり、平成28年秋、松村克弥監督が Cnet に挨拶に来られた。それがご縁で「ある町の高い煙突」を応援する会の事務局をお手伝いすることになった。それから2年、多くの企業、行政、団体、個人の皆様の協賛をいただいて映画が完成した。11月上旬東京の東映撮影所で初号版の試写会が開催された。上映が終わると一瞬感動のため息のような間があって大きな拍手が続いた。企業と地域が協力して煙害防止のため苦心惨憺しながら大煙突を建設する実話の映画化だが、日立市民に元気を与えてくれる誠に骨太の作品に仕上がっているように思った。茨城県で来春試写会の開催が予定されている。乞うご期待！

身近になった AI 星川 雄

AI (人工知能) が身近になって来ました。我が家で活躍する、AIスピーカー (スマートスピーカー) もその代表例です。手のひらに乗るような小型のスピーカーですが、「明日の天気は?」「今日の予定は?」など気軽に声を掛けて重宝しています。「何かある?」と聞きますと、今日の天気予報や予定の他に、ニュースなど直近のトピックスも教えてくれるという「優れもの対応」に感心しています。このような、日常生活に役立つ AI は今後も発展を続けていくと思いますが、私としては「介護管理サポート AI」「物忘れ対策サポート AI」など、今後さらに進む高齢化社会に役立つような、身近な AI の開発と普及を期待しています。

プログラミングへのお誘い 宮垣 久典

2020年から小学校で始まるプログラミング教育が話題になっています。シナリオをもとに、児童にプログラミング言語を使ってソフトを作らせ(これをプログラミングと言う)、テストから完成までを体験させることで、論理的に物事を考える力を身に付けさせようというものです。ソフトはプロが作っても、最初から思い通りに動いてくれません。ただ、生みの苦しみが大きいほど、ソフトが完成した時の喜びもひとしおです。プログラミングが初めての人は、当パソコン教室のプログラミング講座から始められては如何でしょうか。私は年甲斐もなく、最近話題の人工知能を勉強しながら、チャットロボや画像認識ソフトのプログラミングを楽しんでいます。

ユーザーIDとPW(パスワード) 佐藤 紀子

ネット上の様々なサービスを利用するには、ユーザーを特定するIDとPWが必要になってきます。が、そのIDとPWの管理ができていない人のなんと多いことか。かく云う私もその一人です。それぞれのドアを開ける鍵がそれぞれ違うようにIDとPWは1対になっています。どちらかでも合わなければドアを開けることはできません。これからますます増えるであろうIDとPW。それらを管理するソフトもありますが、一番シンプルなのはExcel等で覚書を作成することです。そして更に大切なのが、複数のサイトでPWは使いまわさないということです。この二つの点をしっかりと意識しながら管理しましょう。チョコちゃんに叱られないように！



パソコンの買い換え 宮原 養治侶

今まで使用していたパソコンが不調で、調べるとどうもハードディスク(HDD)の故障らしい。使用できなくなる前、保存データが取り出せなくなる前にと新規にパソコンを買い替え、乗り換えることにした。購入に当たっては HDD の代わりに高速の SSD (Solid State Drive) が装着されたパソコンにした。最近の SSD は容量も増え、価格も下がって来たので良い機会と 500GB を選択した。メールほかすべてを乗り換えるには大変だったが何とかほぼ終了した。Windows やアプリの起動などパソコンの動作の大半にはデータの読み書きが絡み、動作が遅くなるのはこの読み書きの量、速度による。今は HDD から SSD に変えた効果を体感しているところである。

インターネットと音楽 高松 良一

私は今でも音楽媒体の主流は CD だと思っていますが、最近ではインターネットによる音楽配信が一般的になってきました。音楽配信としては2種類あり、一つは配信会社から好きな音楽を有料で購入し、自分の PC (HDD) に音楽ファイルを入れ、再生する方式、二つ目として音楽ファイルはあくまでも配信会社にあり、有料あるいは無料で好きな音楽をその都度自分の PC に転送して再生する方式です。後者はストリーミングサービスと呼ばれますが、簡単に言うとインターネットラジオと考えられます。これらの傾向、さらに CD の通販の増加などの影響も受け、東京などでは大手の CD ショップが次々と消えたりしており、激しい時代の流れの変化を感じます。

「Windows10」便利ツール 小澤 正明

自宅のパソコン作業でよく「何の作業をいつまでに行う」というメモを PC の前に置いておく。乱雑になり終了していない作業のメモが行方不明になる時もある。最近になって「今頃なの？」と笑われるかもしれないが、Win10 に「スティッキーノート」というアプリがあることを知った。キーボードの「windows」キーを押しながら「W」のキーを押すと画面右下に「Windows Ink ワークスペース」という画面が表示される。その中の付箋をクリックするとデスクトップ上に付箋が表示され文字を書き込むことができ簡単な文字装飾もできる。最近はこのようにしているため PC の前はすっきり、メモの行方不明も解消された。

経験と過信 衣鳩 新一

経験することはスキル向上に不可欠ですが、偶然の産物を技能と勘違いすると後悔に見舞われます。先月、Windows10 をバージョン 1809 にアップしました。ネット上にはファイルが消去するバグが報告されておりましたが、過去のバージョンアップは全て順調と根拠のない自信がありました。半月程度新バージョンを満喫した後、PC 教室でメールを生徒さんに送信しようとした時に Outlook ファイルフォルダーの消去に気がつき、自信は霧散しました。バックアップ用 PC からエクスポートして何とか復元し、定期的なディスク複製による障害対応を肝に銘じました。経験による根拠のない技術や、「何とかできるさ」は IT の世界のみならず厳しいようです。

逃げるより学ぶ 大内 猛

最近、町内会がどんどん消滅している。主な理由は高齢化、葬儀の業者化であるが、パソコンが出来ないからも意外と多い。会長役や幹事役が回ってくる前に脱会してしまう。町内報告書は子供が遊びに来た時にやってもらうが、チョコチョコだと嫌われる。私も現役の時代、社内便からメール、報告はパソコンでのムードの中、無教育のまま分厚いデスクトップを預けられ、手書きはやめなさいと言われて、逃回っていた。講師を仰せつかって3年になりますが、皆さんにはパソコンアレルギーからの脱出と、作成の速さ、便利さを楽しんでもらいたいと思っています。私もまだまだ知らないことが多いですが「学ぶは楽し」を皆でめざしたいと思っています。

最近思うこと 山崎 勝敬

先日、嬉しいニュースを聞いた。若い頃に検査を担当したトップダウン型構造化プログラミング言語「SPL」が 2017 年度の情報処理学会の情報処理技術遺産に認定されたと言うのだ。開発に関わった者として誇りに思う受賞だが、当時の苦労も並大抵では無かった。ひとつの例だが、マニュアルに書いてある事と、実際の動作・結果が一致しないという現象が散発し、その対策確認には深夜まで及んだ。近年、プログラミング教育がかしましく取り沙汰されているが、それよりもむしろ、ユーザとの唯一の接点であるマニュアルを、わかりやすく誤解させないよう書く、文章力の育成にもっと力を入れて欲しいと思う今日この頃である。

ひたちインターネット美術館

第40回～
第53回日立市展

第54回日立市展



第54回日立市展から
リニューアルした
「ひたちインターネット美術館」
のホームページ



キャッシュレス社会に備えて 金谷 俊治

マスコミ報道によれば、政府は2019年10月に消費税率の10%への引き上げを正式に表明した由。景気落ち込み緩和策の一つとしてクレジットカードやスマートフォンでのキャッシュレス決済をした場合、2%分(ないしは5%分)をポイントで還元云々とあります。そこで私も遅れじとばかり“おサイフケイタイ”に機種変更しました。確かに現金を使わずに買い物や乗り物に乗れば便利だろうと思えます。日本はIT面では先進国とばかり思っていました。キャッシュレス化率は、韓国:89%、中国:60%、英国:55%、一方日本は18%、(2018年/4月時点)と統計は示しています。キャッシュレス社会の到来に備えて今から準備を始めたところです。

認知症予防と楽器演奏 太田 秀夫

先日、あるテレビ番組で脳科学者の茂木健一郎氏曰く、「脳にとって音楽は食べ物」として認知症予防に音楽が有効であり、好きな曲を聴くとドーパミンが分泌され神経細胞のシナプス結合が強化される由。更に音楽を単に聴くだけに比べ楽器を演奏することで認知症の発症リスクが64%低減されるとの研究成果も紹介されました。私も60歳のときに趣味の幅を広げようと、写真とギターを始めましたが、ギター演奏では指先、目、耳を多用しますので脳の活性化に役立つらしいことは実感できます。またカラオケは誤嚥性肺炎の予防に役立つそうです。人生100年時代、Cnetとして音楽同好会でも作れば、より健康的なシニアライフが実現するかも知れません。

★★★★ パソコン教室から ★★★★★**プログラミング教育へ向けて 菊池 誠**

パソコン探検少年団でのプログラミング教育は今年度で3度目になりました。子供たちのプログラミングスキルが大きく向上したことを強く感じました。内田さん、星川さんからのアドバイスによりプログラミング教育をパソコン少年団で実施でき、さらに久保さんの後押しで、Cnet内での講座を実施することもできました。次の目標は、2020年の義務教育化に向けて、多くの子供たちや大人の方たちにプログラミング体験してもらうことです。次は何が実現するかとワクワクしています。

プログラミングと私 村田 なを

2020年小学校にプログラミング教育導入と、テレビで伝えていました。昨年10月より菊池先生の教室に。今はスクラッチをやっています。10人いれば10の考えがあるのでどれが正解というのはありません。どのようにしたいのか筋道を立てて考えるようにと言われても他の人がこのようにしたと言えそれを自分もやってみたく先に進みません。何を始めるのにも一歩がなかなか進めず、チャレンジすることが少なくなって来た今日この頃ですがCnetの皆さまにいつも刺激をいただいております。

カレンダー作りに挑戦 小野寺辰男・岩子

パソコン教室にお世話になって七年目、私たちも90歳と86歳になりました。エクセル、ワードと言われても何一つ判らなかつた私たちも、今はなんとか出来る様になりました。嬉しく、感謝しています。8月より我家のカレンダー作りに挑戦しています。私たちにはカレンダー作りを思いもしなかつたこと、その月にふさわしい花や果物を取り込んで表示し、とても楽しいです。先生、受講生の皆様もとてもいい人たちで木曜日を楽しみにしています。今後ともよろしく願いいたします。

平成最後の年に 小泉 初枝

もう何年、宮垣教室へ通っているのでしょうか？もう卒業しても良いかなと時々思うことがあります。それは、歳を重ねるにつれ体が重くなり、憂鬱になることが多いためですが、宮垣教室が楽しくて卒業できません。平成も来年の4月で終わりますが、世間的には東日本大震災、個人的にも色々大変なことがありました。ただ、宮垣先生のおかげで、すばらしいパソコンの世界を経験することが出来ました。新しい年号になっても続けたいと思いますので宜しく願い致します。

初心者わいわいパソコン教室 長村 健司

パソコン入門講座を受講してから1年。電源の入れ方から始まった講座も今ではワードで年賀状を作成しています。まだワード初心者ですが大和田先生の御指導により、文章やイラストを挿入して自分なりの年賀状を作成することができました。7人の年配者のグループで皆さん和気あいあいと勉学に勤しんでおりますが、それぞれの質問に答える先生は大変だと思えます。また、休憩時間はコーヒーを飲みながら色々な話に花が咲いて楽しい時間です。月2回の講座ですがとても楽しみです。

パソコンを習いたいと思って 滑川 睦美

私がパソコンを習いたいと思った理由は2つあります。1つ目は自宅にパソコンがあるのにできないのはもったいない。2つ目はボランティアで、皆がパソコンで報告書を作成してくるので、恥ずかしく思いますが、Cnetにお世話になっています。最初は十王の生涯学習センターで習ったのですが、ついていけませんでした。これではだめだと思い、パソコンを教えてくれる所が家の近くにあると知り入会しました。しかしここでも足手まといです。でも先生や皆さんがよく教えてくれます。

★★★★ 趣味の会から ★★★★★

句会に鈴木信行先生をお迎して 村山 典男

平成 29 年 1 月に新しく鈴木先生をお迎えして早くも 1 年になります。先生は毎月投句 1 つ 1 つにコメントされ、総括してのお話や質疑を行います。この 1 年の先生のご指導を振り返ってみますと、俳句にはリズムと五感、直感の冴え。説明のない、単純で省略の効いた句。言葉を選び、一字も疎かにしない推敲。吟行など現場での新鮮な発見。などなど繰り返しご指摘いただいたと感じています。新しい年はどこまで課題に近づけるか楽しみです。パソコン活用、老化防止にも最適。皆様ご参加を。

デジタル写真同好会 小林 明光

今年からほぼ会員が全員で市の美術展に挑戦することになった。コンテストに挑戦し、評価を得るためには、自分の感性、技術のみでなく、審査員が評価する写真の傾向にも配慮する必要がある。趣味の写真にそのようなことは必ずしも愉快でない人もいるとは思うが、コンテストに挑戦するこの要素は避けて通れない。見慣れた風景でも変わった条件やイベントでの日常と違った人々の表情などに目を向け、その内容を見る人の感性にアピールする構図になる様、頭に置いての撮影が求められると思います。

★★★★ 会員の便り ★★★★★

パソコンの安全性 白石 陽一

パソコンの安全性については、よくデータのバックアップを取っておくように忠告を頂いていましたが、あまりトラブル無く過ごしてきたので、強く意識していませんでした。それでも、大容量の外付けハードデスクに、データのコピーを時々保存しておきました。今回、原因不明のトラブルに遭遇してしまい、その時頼りになったのは、Cnet ひたちのパソコン相談室でした。結局、現在はほぼ解決していますが、幾つかのデータを失ったのは残念です。総合安全対策の講座が欲しいところですね。

フェスティバルに参加して 村山 尚子

毎年秋に開催される県北生涯学習センターのフェスティバルに「パソコンを使って一緒に楽しむ」催しを Cnet として毎年参加しています。なでしこのメンバーと男性陣数名による名刺作成がメインです。お客さまは恒例になっているこの名刺づくりを楽しみにされているようで、一緒に作り上げた名刺を満足気に眺めているお子さんたちの姿を見ると私たちが嬉しくて、つついサービス過剰になってしまいました。今年は台風を心配しながらの参加でしたが地域にちょっとだけ貢献できた秋の一日でした。

新聞投稿の楽しみ 百地 康

茨城新聞には「県民の声」他の投稿欄があり、昨年 9 月初めての投稿①「地元ロケドラマが楽しみ」が採用され、紙上に載り、その後ほぼ 1 年で 8 件採用された。①は開設一周年を迎えた道の駅で行われた NHK 朝のテレビ「ひよっこ」のロケで使われたボンネットバスでロケ地を回ったこと。
②「歩く脳トレ魅力を楽しむ」(スクエアステップ)
③「画面で五十数年ぶり再会」(郷里での中学の同級会の時タブレットで繋いだスカイプでロスアンゼルスに住む友人と級友が数十年ぶりの会話) など。

花壇菜園 宇梶 秀夫

市販の草花や野菜の種には有効期限がある。これまではこの期限を守ってきたが、昨年 10 月で期限切れのインゲンを今年春に播いたら、ほぼ 100% 芽を出した。種の袋に書いてある種蒔期限はあまり気にしないでよさそうだ。袋に残る種は保存して、また使える。庭の隅の花壇は菜園にもなる。狭い菜園を有効に使うには、苗作りを平行して行うと畑の使用率がよくなる。菜園の野菜を収穫した跡に、軒下で育てたポットや苗トレーの苗を植える。家庭菜園のミニ版、花壇菜園で花より団子もまた楽しい。

クラス会幹事 無事終了 鈴木 ちよ子

今年はクラス会の幹事になり、10 月末に 1 泊 2 日の箱根旅行をしました。お知らせ・出欠確認・終了後の報告等、印刷物の担当でした。このような係は初めてで、慣れた方には何ともないパソコン作業も私にはチャレンジの連続でした。度々テキストを開いて確認して少々大変な思いもしましたが、無事役目を果たすことができました。これからも楽しくパソコンと付き合っていきたいと思っています。10 月から毎週水曜日に事務局のお手伝いをしています。どうぞよろしく願いいたします。



宮本まさよし画伯
 絵画「合せ波」 F 10 号 作品

